

【提言アイデア集】 3 住まい・建物

<p>〈ゼロカーボンで 住みよいつくば市〉像</p>	<p>推進する取組 (市民(地域・事業者含む)は何をすることが必要か)</p>	<p>効果的な施策 (行政(つくば市・茨城県・国)は何をすることが必要か)</p>
<p>31 断熱性能が高い</p>	<p>3111 市民や事業者は、既築建物の断熱改修をする 3112 事業者は、建物を建てる際には BELS の高い基準を満たす</p>	<p>3121 ゼロカーボン実証実験のために、市は、ゼロカーボンのモデルとなる市営住宅や施設をつくる 3122 省エネ改修への理解を進めるために、市は、空き家をモデル的に改修して、その情報を公開する 3123 断熱改修に、国(県・市)は、省エネランクに応じた補助金を出す</p>
<p>32 太陽光パネル・蓄電池が普及している</p>		<p>3221 太陽光パネル設置・蓄電池設置に、国(県・市)は、補助金を出す 3222 太陽光パネルを設置するために、市は健全な業者を認定する。また、適正な金額を開示する 3223 市(県・国)は、住まい・建物の太陽光パネル・ヒートポンプ・オール電化を(事業者に対して?)段階的に義務化する</p>
<p>33 AI 自動制御が普及している</p>	<p>3311 省エネと快適さの両立のために、AI 自動空調システムを導入する 3312 エネルギー消費量を減らすために、AI 自動制御設備を家庭や事業所に導入する</p>	<p>3321 市は、AI 自動制御設備の導入に補助金を出す 3322 市(県・国)は、省エネ家電・AI 家電を購入する際に補助金を出す 3323 市(県・国)は、AI 制御技術の開発費・研究費を補助する</p>
<p>34 涼しい・暖かい場所に人が集まる</p>	<p>3411 事業者は、子どもが遊べる涼しい・暖かい場所をつくる 3412 省エネのために、市民は、銭湯を利用する</p>	
<p>35 消費電力量等の把握がされている</p>	<p>3511 ゼロカーボン・省エネを意識するために、市民は、自分のエネルギー使用量を知る 3512 事業者は、エネルギー使用量の見える化をする</p>	<p>3521 市民がゼロカーボン・省エネを意識するように、市は、電力使用量が見えるアプリを開発する 3522 非住宅のゼロカーボンのために、市は、エネルギー消費量の状況を示す web サイトをつくる</p>
<p>36 コンパクトシティへの住み替えが進む</p>		<p>3621 市は、コンパクトシティへの住み替えを推進する 3622 市は、コンパクトシティのモデル地区をつくる</p>
<p>37 その他</p>	<p>3711 市民は、ゼロカーボンの知識を持つ 3712 ゼロカーボンを達成するために、市内の研究機関は、ゼロカーボン推進課・推進室を設置する 3713 ゼロカーボン技術を導入するために、事業者は、ゼロカーボン技術者を養成する</p>	<p>3721 市は、省エネ技術等を学ぶ・知る場を提供する 3722 ゼロカーボンへの理解を促進するために、市(県)は、ゼロカーボンに関するカリキュラムを学校等に導入する</p>

*「商業施設のグリーン化」→25 へ。「買い替えの際の引き取り」→42 へ。